

MAGNETIC RECORDING AND REPRODUCING DEVICE**Publication number:** JP5325323**Publication date:** 1993-12-10**Inventor:** NISHIDA YOSHITAKA**Applicant:** FUNAI ELECTRIC CO**Classification:**

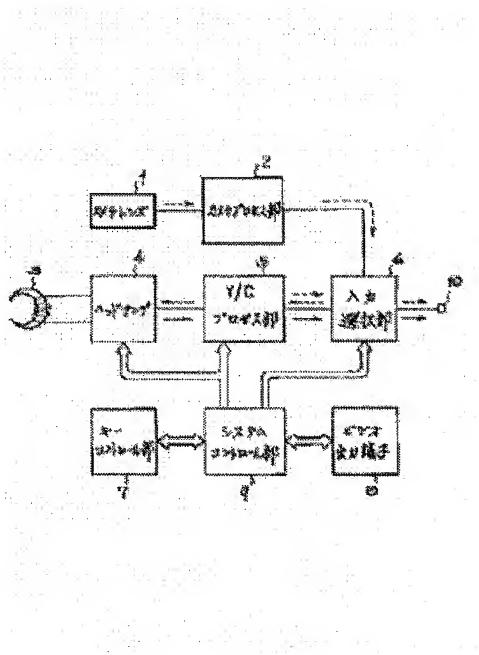
- international: G11B15/02; G11B15/087; G11B15/10; G11B15/467;
G11B27/36; H04N5/782; H04N5/7826; G11B15/02;
G11B15/087; G11B15/10; G11B15/467; G11B27/36;
H04N5/782; H04N5/7824; (IPC1-7): G11B15/087;
G11B15/02; G11B15/10; G11B15/467; G11B27/36;
H04N5/782

- European:

Application number: JP19920160171 19920527**Priority number(s):** JP19920160171 19920527[Report a data error here](#)**Abstract of JP5325323**

PURPOSE: To enable the monitor of the recorded image just before a pause by reproducing the recording content in a recording mode just before rewinding in succession to the rewinding before the pause state is attained when the changeover from the recording mode to the pause mode is selected.

CONSTITUTION: A system control section 9 shifts to the state of a reverse mode when a pause button is pushed during the recording mode. The rewinding of a triple speed is executed for a certain specified period of time in the reverse mode (camera-through picture is in this period). The reverse mode is thereafter shifted into a short play mode. The picture recording pause state is attained and the recording stops upon arrival at a certain set position before the position where the recording pause is executed in this mode. The short premode is attained when a recording button is pushed again. The recording is started at the point of the time when the synchronization coincides. The monitor screen is the camera-through picture in the short play mode.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 05325323 A
(43) Date of publication of application: 10.12.1993

(51) Int. Cl G11B 15/087

G11B 15/02, G11B 15/10, G11B 15/467, G11B 27/36, H04N 5/782

(21) Application number: 04160171

(22) Date of filing: 27.05.1992

(71) Applicant: FUNAI ELECTRIC CO LTD

(72) Inventor: NISHIDA YOSHITAKA

(54) MAGNETIC RECORDING AND REPRODUCING DEVICE

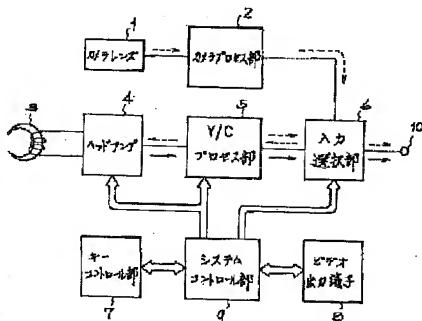
(57) Abstract:

PURPOSE: To enable the monitor of the recorded image just before a pause by reproducing the recording content in a recording mode just before rewinding in succession to the rewinding before the pause state is attained when the changeover from the recording mode to the pause mode is selected.

CONSTITUTION: A system control section 9 shifts to the state of a reverse mode when a pause button is pushed during the recording mode. The rewinding of a triple speed is executed for a certain specified period of time in the reverse mode (camera-through picture is in this period). The reverse mode is thereafter shifted into a short play mode. The picture recording pause state is attained and the recording stops upon arrival at a certain set position before the position where the

recording pause is executed in this mode. The short premode is attained when a recording button is pushed again. The recording is started at the point of the time when the synchronization coincides. The monitor screen is the camera-through picture in the short play mode.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-325323

(43)公開日 平成5年(1993)12月10日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
G 11 B 15/087	M 8022-5D			
15/02	310 F 8022-5D			
15/10	C 9198-5D			
15/467	K 9058-5D			
27/36	B 8726-5D			

審査請求 未請求 請求項の数1(全4頁) 最終頁に続く

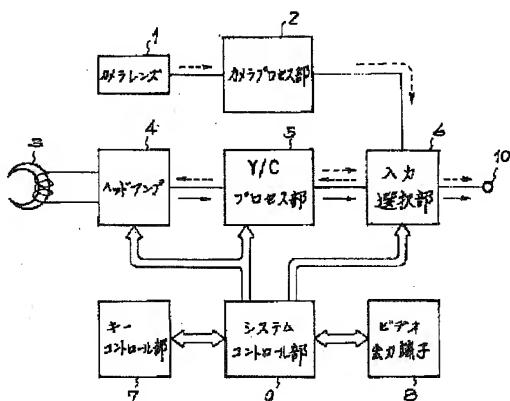
(21)出願番号	特願平4-160171	(71)出願人	000201113 船井電機株式会社 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号
(22)出願日	平成4年(1992)5月27日	(72)発明者	西田好孝 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号 船井 電機株式会社内
		(74)代理人	弁理士 佐藤英昭

(54)【発明の名称】 磁気記録再生装置

(57)【要約】

【目的】 ポーズ直前の記録画像のチェックを自動的に行えるようにし、必要なシーンの録画が撮影されないなどの記録ミスを直ちに発見して、再録画などのチャンスを失わないようにする。

【構成】 記録モードからポーズモードに入った後一定の期間中キャプスタンモータを逆転し、上記一定の期間経過後、つなぎ撮りのための動作期間の一部または全ての期間を利用して、上記ポーズモードに入る前の記録内容を再生し、ビデオ再生画を監視可能にする。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 記録モードとポーズモードを有し、つなぎ撮り動作を行える磁気記録再生装置において、記録モードからポーズモードへ切換が選択された場合、ポーズ状態となる前に巻き戻しに続けて直前の記録モードでの記録内容を再生するようにしたことを特徴とする磁気記録再生装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、磁気記録再生装置において記録モードからポーズモードに入った際、このポーズモードに入る前の記録画像をチェックするのに用いられる記録画像のチェック方法に関する。特にビデオカメラなどの記録を行うためのビデオテープレコーダに適用する。

【0002】

【従来の技術】 磁気記録再生装置では、記録終了後、画像記録が正しく行われたか否かが分からず不安となることがあり、例えば結婚式など一生に一度のシーンを残そうとする場合には、記録ミスがないように記録操作に慎重を期す必要がある。このため、従来から、磁気記録再生装置に記録レビューボタンを設け、これを操作することにより、画像のチェックを行っている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、かかる手動操作による従来のチェック作業は、使用者にとって煩わしく、また、かかる操作を忘るとチェックが行えず、ヘッド汚れ等の原因により記録ミスを見逃してしまう場合があり、この結果、重要なシーンの撮影の失敗を招き、再記録のチャンスを失ってしまうなどの問題点があった。

【0004】 この発明は上記のような問題点に着目してなされたものであり、次の記録操作へのロスタイムを変えることなく、記録画像のチェックを記録モードに続くポーズモード時に自動的に行えるようにし、よって記録ミスの見逃しを防止できる磁気記録再生装置を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は記録モードとポーズモードを有し、つなぎ撮り動作を行える磁気記録再生装置において、記録モードからポーズモードへ切換が選択された場合、ポーズ状態となる前に巻き戻しに続けて直前の記録モードでの記録内容を再生するようにしたことを特徴とする。

【0006】

【作用】 この発明における記録再生画は、磁気記録再生装置が記録モードからポーズモードに入った後、直ちに磁気テープの巻き戻しを一定期間行った後、つなぎ撮りのために割り当てられた動作期間内において再生モードとなし、この再生モードにおいて記録済の画像を自動再

10

20

30

40

50

50

2

生して目視によるチェックを可能にする。

【0007】

【実施例】 以下、この発明の一実施例を図について説明する。図1はこの発明のビデオテープレコーダのプロック図であり、図において、1はカメラレンズ、2はカメラレンズ1を通して撮影される画像の処理を行うカメラプロセス部、3は記録再生兼用のヘッド、4はヘッドアンプ、5は入出力用画像信号中の輝度信号及びクロマ信号を処理するY/Cプロセス部、6は入力選択部、10はテレビモニタへのビデオ出力端子である。

【0008】 また、7はキーコントロール部、8はキャプスタンモータのサーボ制御部、9はキーコントロール信号やサーボ制御信号を受けて、ビデオテープレコーダを制御するシステムコントロール部である。

【0009】 次に動作について説明する。まず、記録モードに入ってビデオテープレコーダが記録動作している場合には、図示しないキャプスタンモータがフォワード方向に駆動され、さらにシステムコントロール部9はサーボデータを受けてこれを入力選択部6に入力している。また、レンズ1からカメラプロセス部2を通して得られた画像信号が入力選択部6、Y/Cプロセス(輝度/クロマ処理)部5及びヘッドアンプ4をそれぞれ介して、ヘッド3に入力される。このため、テープに画像の記録が行われると共に、一部がY/Cプロセス部5及び入力選択部6を介してビデオ出力として図示しないモニターへ出力される。つまり、このモニターにはカメララスルーパーが得られることになる。その状態を図1中に破線の矢印で示す。尚、図1中の実線の矢印は記録再生画の場合を示す。

【0010】 上記のような記録モードにおいて、システムコントロール部9は次のように動作する。この動作も図2によって説明する。すなわち、記録モード(A)(この期間はE Eつまり、カメララスルーパー)の状態中にポーズボタンが押されると、リバースモード(B)の状態に移行する。

【0011】 リバースモード(B)では、ある一定時間REWつまり、3倍速の巻き戻しを行う(この期間もE Eつまりカメララスルーパー)。その後ショートプレーモード(C)に移行する。

【0012】 ショートプレーモード(C)の期間中はモニタ画は記録再生画となっている。ショートプレーモード(C)では、記録ポーズが行われた位置より前のある設定位置にくると記録ボーズ状態となって停止する。ここでスタンバイ状態となっている。

【0013】 そして、再び記録ボタンが押されるとショートプレーモード(D)となり、再生画と記録画との垂直同期信号の同期合わせを行い、同期が一致した時点で記録を開始する。ショートプレーモード(D)ではモニタ画はカメララスルーパーであり、再び記録が開始された時点から前回記録ボーズを行った時点までは重ね書き部分

3

として前情報は消去される。尚、ショートプレーとは、早送り中に一定間隔で短時間再生を行う動作のことである。

【0014】この結果、記録を開始してからポーズボタンを押すと、ポーズ直前の記録画像を自動再生することで、記録が正しくなされたか否かのチェックを行うことができ、テープの全部に画像を撮り終ってから、記録が悪いものであることに気がつくという失敗を回避することができ、またノイズレスのつなぎ撮りができる。

【0015】

【発明の効果】以上のように、この発明によれば磁気記録再生装置において、記録モードからポーズモードに入った後一定の期間中キャプスタンモータを逆転して、上記一定の期間の経過後、つなぎ撮りのため上記ポーズモードに入る前の記録内容を再生し、記録再生画を監視可能にしたので、記録済のポーズ直前の画像を自動的にモニターに出して監視でき、重要なシーンの記録が撮影されないという不都合を回避でき、またノイズレスのつなぎ撮りができる。また、かかる機能をソフトウェアの変

4

更のみで、簡単かつ安価に果たすことができるという実用上の効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

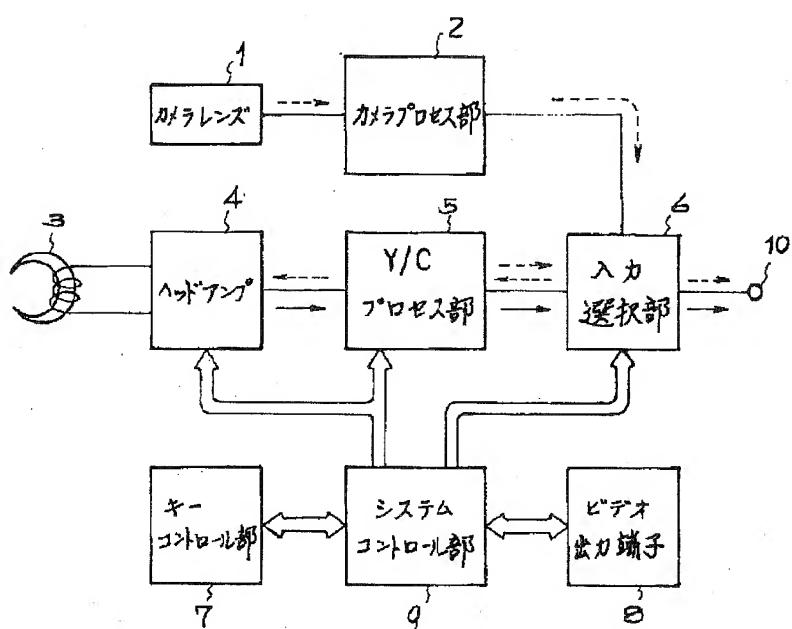
【図1】この発明の一実施例のビデオテープレコーダの回路を示す回路図である。

【図2】図1のシステムコントロール部の動作説明図である。

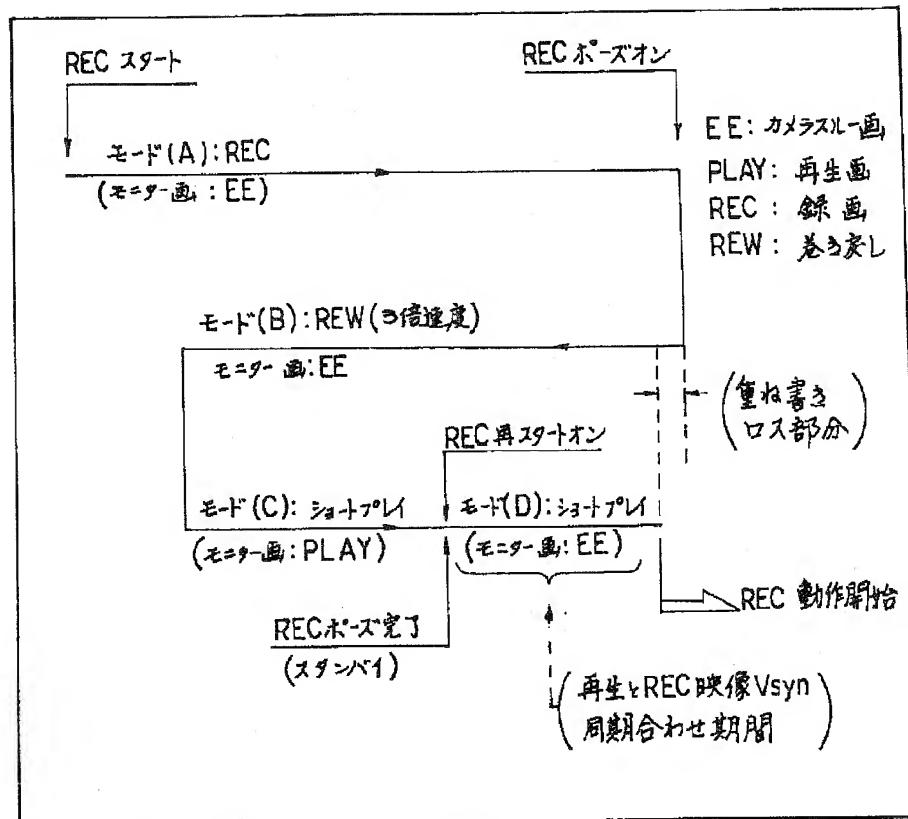
【符号の説明】

- 1 カメラレンズ
- 2 カメラプロセス部
- 3 ヘッド
- 4 ヘッドアンプ
- 5 Y/C プロセス部
- 6 入力選択部
- 7 キーコントロール部
- 8 サーボ制御部
- 9 システムコントロール部
- 10 ビデオ出力端子

【図1】



【図2】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 5

H 04 N 5/782

識別記号 庁内整理番号

A 7916-5C

F I

技術表示箇所